

JR東海労ニュース

No.1498

2010年11月17日
JR東海労働組合

「年末手当再申し入れ」団体交渉開催

社員の苦勞に、 実を持って応えよ！

本部は11月17日、2010年度年末手当再申し入れに対する団体交渉を行いました。

会社は、これまで主張してきた先行きの不安を理由に、社員の努力は認めつつも、頑なに2.9ヶ月の支給について、その回答を変えようとしませんでした。

組合は、28人の役員報酬は2億円も増やしているのに、社員には何のプラスもないなど許されない。0.1ヶ月のプラスにしても社員20000人でわずか6億円である。この差は何か！である。

業績も上がり、他企業もプラスの動向、経済状況もどん底から這い上がりの状態。その上、リニア中央新幹線への莫大な投資、変わらぬ株主配当金等など、どこに今年の年末手当を抑える理由があるのか。私たちはあらためて3.2ヶ月の支給を強く要求しました。

会社は努力を認めると言いつつ、しかしその努力に応える姿勢を全く示すことなく、2.9ヶ月の回答に終始しました。

私たちは、このような会社の姿勢を許すことなく、今後も皆さんと共に闘います。

社員のボーナスを抑制する前に

役員報酬1.2億円の

見直しがまず先だ！